公益財団法人
かがわ産業支援財団
KAGAWA INDUSTRY SUPPORT FOUNDATION
https://www.kagawa-isf.jp

［ 成功への道筋が見えて来る！かがわの産業界の今をお届けする ］

かがわ産業情報21

KAGAWA INDUSTRY INFORMATION 21

2021 vol.80
4
年4回発行

新理事長 ご挨拶
前理事長 退任のご挨拶

TOP NEWS

第28回 芦原科学賞の受賞者決定
『受賞者の皆様おめでとうございます。』

「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2020」受賞者が決定！！

「かがわ産業振興クラブ」セミナーを開催しました。
「withコロナ時代の中小企業経営」

特 集

令和3年度 かがわ産業支援財団の重点事業

令和3年度 香川県の主な中小企業支援事業

新かがわ中小企業応援ファンド等事業の令和3年度支援事業が決定しました!!

かがわ発！
元気創出企業

「株式会社禾」
子どもから大人まで
みんなで「おいしい」と喜び合える。
自慢できる「おこめの菓子」を。

ご　挨　拶

公益財団法人 かがわ産業支援財団
理事長　**安松 延朗**

大津前理事長の後任として、4月1日付けで公益財団法人かがわ産業支援財団の理事長に就任いたしました。

昨年3月末、審議監を最後に香川県庁を退職し、その後1年間は公益財団法人かがわ水と緑の財団理事長と香川県の水資源対策特別参与を務めておりました。

これまでの経験のなかで、産業政策に直接携わる機会はありませんでしたが、この度、かがわ産業支援財団の理事長として仕事をさせていただくこととなり、責任の重さに身が引き締まる思いでおります。もとより微力ではございますが、これまでの行政経験を活かし、県内企業の皆様が元気になり、本県産業が成長することができるよう、精一杯取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大から1年以上が経過いたしましたが、今なお全国的に感染拡大が続いている状況にあり、県経済も少なからず影響を受け、先が見通せない状況が続いております。県内企業の皆様におかれましては、このような厳しい経営環境のなか、事業の継続と回復のためにご努力いただいていることに、深く敬意を表します。

当財団といたしましても、現在、新型コロナウイルス関連経営相談窓口を設置しておりますほか、引き続き、創業や新分野への進出、商品開発や販路開拓、海外進出、経営基盤強化や経営課題の解決といった多様な企業ニーズに対応するための、県内企業の事業段階に応じた相談・助言、研究開発、人材育成や助成金などによるきめ細かな支援に努めるとともに、新たに創業を考えている方に対する実践的な創業支援塾の開講や新規創業計画の作成支援のほか、創業後セミナーの開催や新規起業等スタートアップ補助制度により、新規創業の支援にも力を入れています。

このほか、中小企業が持つ知的財産に関する悩みや課題を解決するための総合支援と海外への特許出願等の支援、「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」を活用した香川県の成長のエンジンとなる分野の新商品・技術開発、研究開発や販路開拓への支援、地域のプロフェッショナル人材の地方還流のための人材の確保などの事業を実施しております。

引き続き、県内企業の総合的な支援機関として、企業の皆様の声をお聞きし、県と一体となって新産業の創出や産業技術の高度化、産学官の共同研究開発の支援など県内産業の活性化のための施策を積極的に推進し、県内企業の皆様から頼りにされるかがわ産業支援財団となるよう努めてまいりますので、一層のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

退任のご挨拶

公益財団法人 かがわ産業支援財団
前理事長　**大津 佳裕**

3月31日付をもちまして、理事長を退任いたしました。

県内企業の皆様、関係機関の皆様には、平成28年4月の就任以来、5年間にわたり財団事業の推進にご協力をいただき、誠にありがとうございました。

厳しい社会・経済環境が続いていますが、県内企業の皆様がコロナ危機を克服し、ご発展されますことを心から祈念して、御礼のご挨拶とさせていただきます。

TOP NEWS 1

第28回 芦原科学賞の受賞者決定
『受賞者の皆様おめでとうございます。』

第28回芦原科学賞は、令和2年8月17日から10月16日にかけて募集を行い、技術開発等審査委員会（委員長：田村禎通徳島文理大学学長）及び芦原科学賞選考委員会（委員長：筧善行香川大学学長）に諮り、受賞案件を決定しました。

そして、令和3年3月10日（水）に高松市内のホテルにおいて、浜田恵造知事のご出席を頂き贈呈式が開催されました。贈呈式では、まず芦原科学賞の顕彰があり、大津理事長から芦原科学大賞に決定した三菱電機株式会社受配電システム製作所の西川哲司氏、津上友成氏、三菱電機エンジニアリング株式会社の橋本大也氏、中川遼司氏に賞状・楯と賞金（200万円）が、芦原科学功労賞に決定した大倉工業株式会社の木村浩司氏、福永秀樹氏、阪内邦夫氏、串田豊和氏、莨谷新吾氏、西尾祥氏に賞状・楯と賞金（100万円）が、芦原科学奨励賞に決定したメロディ・インターナショナル株式会社の尾形優子氏、河野弘就氏、國方隆良氏、杉村拓也氏に賞状・楯と賞金（50万円）が授与されました。

（公財）かがわ産業支援財団では、高松市出身の故芦原義重関西電力㈱名誉会長からの寄附金を基金として、自然科学系分野において、県内の産業技術の高度化及び産業の振興に寄与することを目的に、平成5年度から、研究者の顕彰のための「芦原科学賞」事業を行っています。

CONTENTS

2021年4月 vol.80 発行（年4回発行）
かがわ産業情報21 4

新理事長 ご挨拶 …… 1
前理事長 退任のご挨拶 …… 1
【トップニュース】
第28回 芦原科学賞の受賞者決定
『受賞者の皆様おめでとうございます。』…… 2
「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2020」
受賞者が決定!! …… 4
「かがわ産業振興クラブ」セミナーを開催しました。
「withコロナ時代の中小企業経営」 …… 5
【財団の活動】
RISTかがわ令和2年度 研究成果発表会を開催しました …… 5
かがわ糖質バイオフォーラム第13回シンポジウムを開催し、
産学官の人的ネットワークの構築を図りました …… 6
北四国地域（香川県・愛媛県）における知財ビジネスマッチングを開催しました …… 6
四国地域知的財産活用セミナーをオンラインで開催しました …… 6
【特　集】
令和3年度 かがわ産業支援財団の重点事業 …… 7
令和3年度 香川県の主な中小企業支援事業 …… 9
新かがわ中小企業応援ファンド等事業の
令和3年度支援事業が決定しました!! …… 11
【かがわ発！元気創出企業】
子どもから大人まで
みんなで「おいしい」と喜び合える。
自慢できる「おこめの菓子」を。
株式会社禾 …… 13

芦原科学賞の受賞者と業績

芦原科学大賞

テーマ　**停電不要かつ専門技術者派遣不要な受配電設備の劣化診断システムの開発**

受賞者：三菱電機株式会社 受配電システム製作所　西川 哲司、津上 友成
三菱電機エンジニアリング株式会社　中井 遼司、橋本 大也

推薦者：三菱電機株式会社受配電システム製作所　所長　野間 元暢

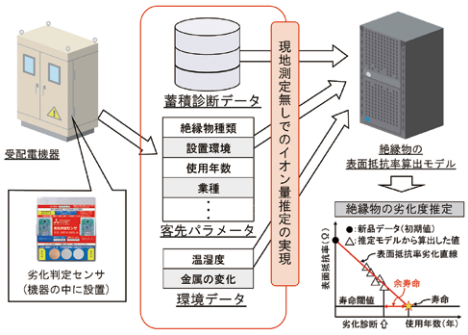
業績

受賞者は、受配電設備の劣化診断実績（約３千件）の蓄積データベースと、設備の非充電部に設置した劣化判定センサが測定する絶縁材料の絶縁性能に影響を与える項目（温湿度、金属の変化）から、有機絶縁物の劣化状態を推定するシステムを構築することにより、停電不要かつ技術者派遣不要の診断を実現した。本システムの開発により、劣化診断の容易化と省力化、低コスト化を実現したことで、これまで以上に受配電設備の効率的な運用に寄与できるようになった。

受賞者のコメント

芦原科学賞大賞という栄誉ある賞を賜り、誠にありがとうございます。今後も本システムをより多くのユーザに提供できるよう技術の向上と改善を行いながら、安心・安全な受配電設備運用の定着を通じ、豊かな社会の実現と郷土の発展に貢献できるよう精進いたします。

◀劣化判定センサ



▲診断システム概要

芦原科学功労賞

テーマ　**ストレッチフード包装用フィルムの開発**

受賞者：大倉工業株式会社
木村 浩司、福永 秀樹、阪内 邦夫、串田 豊和、莨谷 新吾、西尾 祥

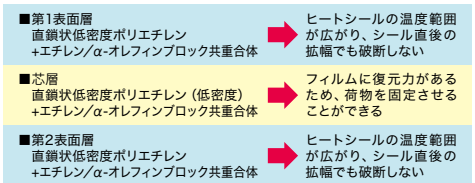
推薦者：大倉工業株式会社　代表取締役社長　神田 進

業績

受賞者は、SDGsなど世界的な環境保全に対する機運の高まりを背景に、パレット積みされた品物の荷崩れ防止を目的とした「ストレッチフード包装」用フィルムを新たに開発した。同フィルムは、従来の包装と比較して省エネで資材の使用量を低減できる包装形態であり、食品業界にも対応した低臭気性という特徴を兼ね備えている。また、多層構成の中間層に密度の低いポリエチレン樹脂を使用し、さらにエチレン／α-オレフィンブロック共重合体を配合することにより、高い復元力とシール強度の実現が可能となった。

受賞者のコメント

栄誉ある芦原科学功労賞を賜りまして、誠にありがとうございます。ストレッチフード包装は、今後の物流改善や効率化を実現できる包装形態であると考え開発に取り組み、産業への寄与を認めて頂いたことを大変嬉しく感じております。今後も社会に役立つ製品開発に取り組んで参ります。



▲ストレッチフード包装用フィルムの構成

◀ストレッチフード包装事例

▲ストレッチフード包装機

芦原科学奨励賞

テーマ　**妊産婦の遠隔診療を可能にする「分娩監視装置ｉCTG」と「周産期遠隔医療プラットフォームMelody ｉ」の開発**

受賞者：メロディ・インターナショナル株式会社
尾形 優子、河野 弘就、國方 隆良、杉村 拓也

応募者：メロディ・インターナショナル株式会社　代表取締役　尾形 優子

研究評価

受賞者は、全国的な産婦人科医と出産施設数の減少に伴う妊産婦の周産期センターへの集中や通院費負担増という社会的な課題を背景に、日本の小型化集積化技術等を応用し、世界的にも機能性に優れた新たな分娩監視装置を開発した。インターネット回線を使用して計測データの送受信を可能とすることにより、時間や場所を問わず、いつでも遠隔で妊婦と胎児の健康状態を把握できることから、当該機器を中心とした周産期遠隔医療プラットフォームの構築は、今後、国内外の医療環境の改善・発展に大きく寄与することが期待できる。

受賞者のコメント

栄誉ある芦原科学奨励賞を賜り、誠にありがとうございます。
分娩監視装置iCTG、周産期遠隔医療プラットフォームMelody iは、世界中のお母さんに安心安全な出産を提供し、社会に貢献できる技術です。
今後も、新たな香川発の技術を発信するために努力精進いたします。

◀分娩監視装置
iCTG

胎児心拍計（FHR）
超音波トランスデューサ

外測陣痛計（TOCO）
陣痛トランスデューサ

▲周産期遠隔医療プラットフォームMelody ｉ

TOP NEWS ②

「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2020」受賞者が決定！！

公益財団法人かがわ産業支援財団では、香川の将来を担う革新的ベンチャー企業の創出・育成を図るため、創造的な技術や商品、サービスなどを自ら新規に開発し、新たな顧客や付加価値を創造しようとする、独創的なビジネスプランを昨年9月から11月にかけて募集しました（平成23年度から年1回開催で、今回で10回目）。

今回は26件の応募があり、このうち書類選考を突破した6プランの公開プレゼンテーションによる最終選考が、去る2月5日、かがわ国際会議場（高松シンボルタワータワー棟6階）にて開催され、最優秀賞1件、優秀賞2件が選定されました。

入賞者とビジネスプランは次のとおりです。

「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2020」

最　優　秀　賞

新事業名　**技＋技＝無限**

受賞者：TASUKI-Int.　代表 森本 理恵／高松市

事業内容

伝統工芸を生業としている職人の方々は、後継者問題と今後の行く末の不安を抱えている。そこで、伝統工芸品を身近に感じてもらえるよう現代の生活にマッチさせた今まで見たことがないような新しい商品の提案を行い、海外に向けて販売するしくみを作る。職人のこだわり、譲れない想いをくみ取りながら、「廃業」を免れる企画を進めていく。

受賞者のコメント

伝統工芸の技のコラボ「技＋技＝無限」
使われなくなったものは、物であって技ではない。
伝統工芸を現代の生活になじむような商品化、伝統工芸士同士のご縁をつなぐ、購入してくださる方とのご縁を繋ぐ　その橋渡しをTASUKI－Int.が請け負います。
パワーポイントなどの準備を手伝ってくれた仲間、沢山のアドバイスをくれて、見守ってくれた財団の方々のおかげで何とか当日を迎え、「ここまで残ったのは、これが、私の使命」だと覚悟を決め、プレゼンに臨みました。
これから、皆様の期待に応えるべく事業を進めていかないといけない。一番良い賞をいただいて、皆様から「おめでとう」と言われる度になぜか、これほど、重圧の重いことは今まで感じたことがない経験です。

優　秀　賞

新事業名　**巨大なコミュニケーションツール「デカらくがき本」を活用した新規事業**

受賞者：未伽　代表 松原 英樹／高松市

事業内容

通常イメージする“らくがき帳”のはるか上をいく、驚きの大きさ「デカらくがき本」をコミュニケーションのツールとして開発しました。身体感覚や五感を使う楽しみという昔ながらの体験、「手で描くこと」「皆で創ること」が、生きる力・考える力を育む基礎として重要と考えます。「子どもたちの笑顔」「未来への夢」を応援、ことば・年代・国を超え、皆が笑顔でつながるお手伝いをします。

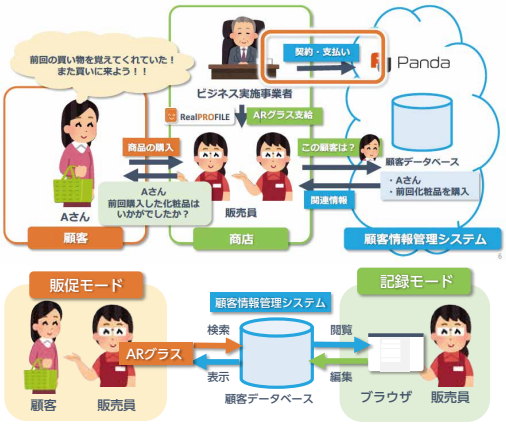
優　秀　賞

新事業名　**ARグラスを活用したシステムによる『個と個を繋ぐ新しいビジネス形態』**

受賞者：Panda株式会社
代表取締役 田貝 奈央／三豊市

事業内容

個人顧客に商品を販売する商店に「目の前にいる人に関連するプロフィール情報をARグラス上に表示するシステム」を販売する。システムの導入により、商店は従業員の能力や経験に関わらず、顧客にとって特別感のある接客の提供が実現し、リピート客の新規獲得による、売り上げの増加が見込める。ARグラスを含めた初期導入費用とライセンス使用料と顧客情報管理代金を含めた毎月のシステム利用料を支払うことで継続的に利用できるシステムを提供する。



TOP NEWS ③

「かがわ産業振興クラブ」セミナーを開催しました。「withコロナ時代の中小企業経営」

かがわ産業振興クラブでは、令和３年２月26日(金)、船橋株式会社　代表取締役　舟橋　昭彦氏並びに事業企画室　大谷　真奈美氏をお招きして、香川産業頭脳化センタービル　一般研修室とZoomによるWeb配信にて講演会を開催し、その後、講師を交えて、地元中小企業経営者、学識経験者をパネラーに、「香川県よろず支援拠点」コーディネーター　竹内　哲也氏をファシリテーターとして、「withコロナ時代の中小企業経営」のテーマによるパネルディスカッションを開催しました。

主催　かがわ産業支援財団「かがわ産業振興クラブ」
共催　「香川県よろず支援拠点」

【第一部】―基調講演―　14:10～15:10

演題　**「コロナ禍に挑む『本気のものづくり』」**
講師　船橋㈱　代表取締役　舟橋 昭彦 氏、事業企画室　大谷 真奈美 氏

【第二部】―パネルディスカッション及び質疑―　15:20～16:30

テーマ　**「withコロナ時代の中小企業経営」**
パネリスト　船橋㈱　代表取締役　舟橋 昭彦 氏、事業企画室　大谷 真奈美 氏
香川大学創造工学部　教授　井藤 隆志 氏
㈱サンテック　代表取締役社長　青木 大海 氏
㈱ダイコープロダクト　代表取締役社長　川北 康伸 氏
徳武産業㈱　代表取締役社長　西尾 聖子 氏

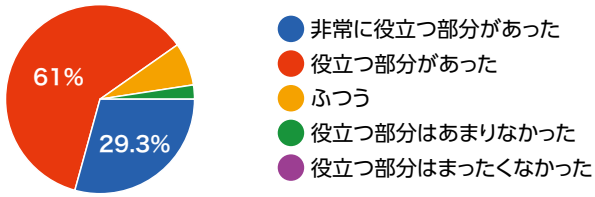
ファシリテーター　「香川県よろず支援拠点」
コーディネーター　竹内 哲也 氏

参加者の声

- 最後のところでありましたように、「ノーアクション、トークオンリー」にならないように、一つだけでも実践していきたいと思います。
- 複数社と協業した結果起こった、ものづくりや従業員の変化等、大変興味深い講演をありがとうございました。
- ありがとうございました。
  トヨタカイゼンってトヨタだから出来るんだろうって思っていましたが、中小企業でも出来ることがあるんだな！と思い、勉強してみます。
- 舟橋さんの講演が良かった。お話がとてもリアル感があり良かった。成長した良いところだけでなく、苦心なさっている部分のお話が伺えたことで、前向きな姿勢の大切さを痛感した。教授の「コラボレーション」と「コクリエーション」のお話も興味深かった。もっと伺いたいと感じた。
- 普段、なかなか聴けないような企業のお話が聴けて大変勉強になり、また大いに刺激を受けました。今後もこのような機会があれば参加させていただきたいです。

本日のセミナーは有意義でしたか。(41件の回答)

ご自身の業務に役立つ部分はありましたか。(41件の回答)



財団の活動

RISTかがわ令和2年度 研究成果発表会を開催しました

（公財）かがわ産業支援財団地域共同研究施設（RISTかがわ）では、高温高圧流体技術やマイクロ波技術に特化した研究を行っています。
この度、国公立試験研究機関及び県内企業を対象に、当財団の研究員が令和2年度に実施した研究成果の発表会を開催いたしました。

日時　令和３年３月30日(火)13:30～14:20
場所　(公財)かがわ産業支援財団　RISTかがわ１階会議室
主催　(公財)かがわ産業支援財団
参加者　20人

【発表①】
演題　**「超臨界技術によるプラスチック材料への機能性付与に関する研究(Ⅱ)－親油性セルロース素材の開発－」**
発表者　(公財)かがわ産業支援財団
地域共同研究部　主席研究員　中西 勉

【発表②】
演題　**「オリーブ圧搾滓に含まれるポリフェノールの分析－マイクロ波照射によるオリーブ圧搾滓保存前処理の検討－」**
発表者　(公財)かがわ産業支援財団
地域共同研究部　主席研究員　朝日 信吉

お問い合わせ先　公益財団法人かがわ産業支援財団 地域共同研究部
高松市林町2217-43 RISTかがわ1F　TEL.087-869-3440　FAX.087-869-3441

かがわ糖質バイオフォーラム第13回シンポジウムを開催し、産学官の人的ネットワークの構築を図りました

令和3年1月29日（金）、かがわ国際会議場において、県内から87名の糖質バイオ分野における産学官関係者に参加いただき、「かがわ糖質バイオフォーラム第13回シンポジウム」を開催しました。

今回は、県内の学術機関や公設試験研究機関の研究者の方々に、糖質バイオ分野の研究に加え、オリーブの活用に関する研究の成果について御講演いただき、その後、御参加いただいた皆様方と意見交換を行いました。

【プログラム】

第１部講演

「糖代謝と脂質代謝の接点」
香川大学医学部内分泌代謝・先端医療・臨床検査医学講座
教授　村尾 孝児 氏

「天然由来成分の免疫機能性解析」
産業技術総合研究所四国センター　健康医工学研究部門
細胞機能解析研究グループ　主任研究員　安部 博子 氏

第２部講演

「香川県産オリーブからの清酒醸造用酵母の探索」
香川県産業技術センター発酵食品研究所　主席研究員　大西 茂彦 氏

「オリーブ葉を活用した新しい煮干（オリーブイリコ）の開発」
香川県産業技術センター食品研究所　主席研究員　松原 保仁 氏

第３部総合ディスカッション

座長　かがわ糖質バイオフォーラム顧問　香川大学名誉教授　早川 茂
第１部、第２部講演者

お問い合わせ先

かがわ糖質バイオフォーラム事務局
公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課
高松市林町2217-16 FROM香川1F　TEL.087-840-0338　FAX.087-864-6303

北四国地域（香川県・愛媛県）における知財ビジネスマッチングを開催しました

中小企業知的財産支援事業（四国経済産業局事業）において、一般社団法人愛媛県発明協会と連携して、香川・愛媛両県の企業などが所有する開放特許等の知的財産（シーズ）を有効活用することにより、新製品開発や新たな事業展開など、県内企業の競争力向上に向けて、より効果的・効率的に支援させていただくため、令和3年2月に知財ビジネスマッチングを開催しました。

	香川開催	愛媛開催
開催日時	令和３年２月10日（水）	令和３年２月19日（金）
開催場所	香川産業頭脳化センター	テクノプラザ愛媛
内　　容	香川県内のシーズ提供企業14社と香川・愛媛県内企業14社との個別面談23回（31テーマ）	愛媛県内のシーズ提供企業９社と愛媛・香川県内企業９社との個別面談10回（10テーマ）

本事業で県内企業から提供された技術シーズについては、当財団のホームページ及び（一社）香川県発明協会のホームページ（知財ビジネスマッチングサイト）で公開しています。

四国地域知的財産活用セミナーをオンラインで開催しました

四国地域知的財産活用セミナー事業（四国経済産業局事業）において、四国地域の中小企業及び支援者等を対象に、「海外展開」、「地域ブランド」、「デザイン経営」をテーマに、知的財産セミナーを開催することにより、中小企業の知的財産の活用に繋げていくため、身近な事例を交えながら、オンラインによるセミナーを開催しました。

日　時	テーマ・内容	講　師	参加人数
①令和２年12月21日（月） ②令和３年　1月26日（火）	海外展開における知的財産問題 ～中国・ASEANを中心に～	ＢＬＪ法律事務所 代表 弁護士　遠藤 誠 氏	①　9人 ②　16人
①令和２年12月24日（木） ②令和３年　2月　2日（火）	地域ブランド発掘・認知度向上	株式会社ブランド総合研究所 代表取締役　田中 章雄 氏	①　8人 ②　17人
①令和３年　1月15日（金） ②令和３年　2月24日（水）	「デザイン経営」を知る	香川大学 創造工学部 教授　大場 晴夫 氏	①　18人 ②　19人

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産支援課
高松市林町2217-15　TEL.087-867-9332　FAX.087-867-9365

特集Ⅰ

令和3年度 かがわ産業支援財団の重点事業

創業・新事業創出等支援

新規創業・創業後支援事業（企業支援課）

創業を目指す方を対象として、必要な知識等に関する講義、創業計画作成演習等を内容とする創業支援塾を開講する。また、創業後間もない方を対象に、個別課題に対する相談窓口を設け、創業者の事業成長の促進と廃業の抑止等につなげる。

よろず支援拠点事業（企業支援課）

中小企業や小規模事業者への支援体制を強化するため、国からの委託により設置した「よろず支援拠点」に、チーフコーディネーター1名と複数のコーディネーターを配置し、他の支援機関とも連携しつつ、総合的・先進的経営アドバイスの提供や個別事案に最適な支援チームの編成等によるワンストップ総合支援を実施する。

農業の6次産業化等促進事業（ファンド事業推進課）

農林漁業者の6次産業化を支援するため、「かがわ6次産業化推進センター相談窓口」を設置し、専門家等の派遣や各種セミナーを開催し、個別指導や助言を行う。

相談指導・専門家派遣事業（企業支援課）

新事業展開等に取り組む県内企業のために、総合相談窓口を設置し、様々な分野の専門家による経営・技術指導や簡易経営診断を行う。また、地域の支援機関と連携を図るため、産業支援機関連絡会議を開催する。

- 窓口相談：月・火・水
- 相談会：年2回程度（不定期）
- 産業支援機関連絡会議：5月頃開催

プロフェッショナル人材戦略拠点事業（企業支援課）

地域の中小企業の「攻めの経営」や経営改善への意欲を喚起し、民間人材ビジネス事業者等と連携し、企業とプロフェッショナル人材とのマッチングを支援することで、プロフェッショナル人材の活用を促進し、企業の経営革新を促し、地域と企業の成長戦略の実現を支援する。また、兼業・副業等の多様な人材の活用促進や、東京・大阪での県内企業魅力発信セミナー等を開催する。

助　成

新かがわ中小企業応援ファンド等事業（ファンド事業推進課ほか）

「新かがわ中小企業応援ファンド」の運用益等を財源に、独創的な研究開発や販路開拓、生産性向上、人材育成などの事業に助成する。

起業等スタートアップ支援事業（企業支援課）

県内で創業等を行う者に対し、その初期投資に必要な経費の一部を補助することにより、創業等の促進を図る。

（対象事業）

- 情報通信産業型：情報サービス業、インターネット付随サービス業、映像・音声・文字情報制作業（新聞業及び出版業を除く。）、デザイン業
  ※ただし、これらの管理業務のみを行う事業は除く。
- 地域課題解決型：社会的事業分野（事業承継者、第二創業者の場合は、Society5.0関連業種等の付加価値の高い産業分野に限る。）において、地域の課題の解決に資する事業

中小企業後継者育成事業（総務課）

中小企業の経営者や後継者の育成を目的に、中小企業大学校が実施する各種研修や香川大学大学院地域マネジメント研究科に派遣する際に必要な経費の一部を助成する。

感染症・災害対応製品開発促進事業（技術振興部）

感染症対策や災害現場等において必要とされる製品を県内企業が新たに開発する場合に、その開発費用の一部を助成する。

販路開拓

かがわものづくり新技術展示商談会開催事業（取引支援課）

県内企業の優れた技術・製品を大手企業に直接PRする展示商談会を開催し、新規取引の開拓及び広域的な受注機会の増大を図る。

次世代有望分野展示商談会事業（産学官連携推進課）

県内企業の成長分野等（エネルギー・環境、ロボット、自動車関連など）への進出を支援するため、「機械要素技術展」などに「かがわ次世代ものづくり研究会ブース」を出展する。

食品商談会開催事業（企業支援課）

大都市圏等のバイヤーと県内食品産業各社とのマッチングを行う商談会を実施する。

食品見本市出展事業（企業支援課）

香川県食品産業の魅力を発信するとともに、県内食品関連企業の販路開拓を支援するため、国内最大級の食品関連見本市である「スーパーマーケット・トレードショー」等に、香川県ブースを出展する。

地域資源販路拡大支援事業（ファンド事業推進課ほか）

地域の資源を活用して行う商品開発やブランド力強化、販路拡大などを支援するため、展示会出展などの機会の提供と事業者へのフォローアップ等を実施する。

海外展開支援

地域企業海外販路開拓支援事業（海外展開支援室）

経済のグローバル化が進展し、地域産業においても、海外の市場に目を向け、販路開拓を推進することが求められている中で、新たな海外向けの販路開拓を中心とした各種支援を実施する。

施設利用

頭脳化センター等施設提供事業（施設管理課）

頭脳化センタービル内の「インキュベータルーム」や「ＩＴスクエア」のほか、多目的に利用できる会議室を提供する。また、県有施設「ネクスト香川」・「ＦＲＯＭ香川」の管理運営を実施する。

顕　彰

かがわ型新ビジネスモデル奨励事業（企業支援課）

創造的な技術や商品、サービスなどを新規に開発し、新たな顧客や付加価値を創造しようとする、独創的なビジネスプランを募集してコンペを行い、最優秀賞受賞者の事業に要する経費を助成する。

芦原科学賞（産学官連携推進課）

故芦原義重氏（関西電力名誉会長）からの寄付金を基金として、県内の産業技術の高度化及び産業の振興に寄与した研究者等を顕彰する。

産業技術の高度化

先端技術成果実用化支援事業（技術振興部）

希少糖や糖鎖・複合糖質などの糖質バイオ分野の事業化を支援するため、かがわ糖質バイオフォーラムの運営を行い、研究成果の情報発信や人的ネットワークの構築を図る。

健康関連製品開発推進事業（技術振興部）

健康関連分野での製品開発を推進するため、専門家による薬事マネジメント相談会や健康関連製品等の大型展示会出展に対する支援などを行う。

研究開発

研究開発事業（地域共同研究部）

これまでの研究活動により蓄積された高温高圧流体技術等を活用し、社会的課題を踏まえたテーマを中心に企業との共同開発研究、開発可能性研究、受託研究を推進する。また、超臨界流体技術を活用した親油化CNF開発研究やマイクロ波技術による機能性食品材料の開発研究を行う。さらに、実験機器開放や技術指導実験等による新商品開発等の相談・指導を行い、企業等の技術開発を支援する。

食品産業支援事業（地域共同研究部）

「かがわ機能性食品等開発研究会」及び「かがわ冷凍食品研究フォーラム」を運営するとともに、「新機能性表示食品開発相談センター」において機能性表示食品届出に関する技術指導・相談や届出支援受託業務を実施する。

知的財産の活用支援

中小企業等外国出願支援事業（知的財産支援課）

中小企業者における戦略的な外国への特許出願等を促進するため、県内中小企業等の外国への特許等の産業財産権の出願に要する費用の一部を助成する。

香川県発明協会事務運営事業（知的財産支援課）

一般社団法人香川県発明協会の行う発明奨励事業や青少年の創造性開発育成事業等の事務を運営するほか、知的財産権制度の普及を行う。

知的財産支援事業（知的財産普及課）

「香川県知的所有権センター」を設置・運営し、知的財産の活用を普及する特許流通コーディネーター等が、知的財産の活用に関する情報を収集・提供するとともに、県内企業への訪問等を通じて、知的財産の活用に向けた相談・支援や普及を行う。また、県内中小企業等が行う、海外で冒認出願された商標への異議申立てに要する経費の一部を助成する。

知的財産活用促進事業（知的財産普及課）

知的財産を活用した経営に取り組む県内企業等を対象に、かがわ知財経営塾等を開催するとともに、大企業等の開放特許等を県内企業等に紹介するなど、知財マッチングの機会を提供する。

その他

地域技術事業化推進事業（技術振興部ほか）

香川大学大学院地域マネジメント研究科との連携協定に基づき、同科の後期日程で県内中小企業経営者等を講師とする講座（全15回）を提供する。

特集Ⅱ

令和3年度 香川県の主な中小企業支援事業

事業名	事業内容	3年度事業内容
「かがわ希少糖ホワイトバレー」プロジェクト事業 予算額(千円) 31,105 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3352	希少糖を本県産業の成長につなげるため、希少糖を用いた食品の開発支援や、希少糖商品の販路拡大の促進などを行う。	○**希少糖拠点機能強化事業** ●希少糖を用いた地域食品の開発支援 ○**糖質バイオ商品開発支援事業** ●糖質バイオ分野における事業化補助 ○**香川の希少糖ブランド化推進事業** ●首都圏の国際食品見本市への出展支援
オリーブ産業強化プロジェクト事業 予算額(千円) 3,969 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3352	県産オリーブオイルの世界最高水準化を目指すため、オイルの品質向上に必要な技術の高度化を図るとともに、新たなオリーブ商品の開発を支援する。	○**オリーブ商品高品質化支援事業** ●オリーブ製品の開発支援 ●オリーブ産業に従事する技術者の基盤強化
感染症・災害対応製品開発促進事業 予算額(千円) 11,481 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3352	新型コロナウイルス感染症の感染拡大や自然災害の多発により生じた新たな需要に対応した製品の開発を支援する。	○**感染症・災害対応製品開発促進事業** ●感染症や災害に対応した製品の開発に要する経費を補助 ○**かがわ健康関連製品開発フォーラムの運営** ●健康関連分野の展示会への出展支援・薬事マネジメント相談会の実施
次世代ものづくり産業育成事業 予算額(千円) 188,911 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3348	本県の強みである、ものづくり基盤技術産業と食品産業の振興を図るため、将来の成長が有望な分野における研究開発や新商品開発の支援、展示商談会などを活用した販路開拓・受注拡大の支援、地域産業に必要な人材の育成支援などを行う。	○**かがわSociety5.0(超スマート社会)推進事業** ○**海洋プラスチックごみ対策等環境負荷低減製品開発支援事業** ○**次世代3D積層造形技術関連産業育成事業** ○**ものづくり基盤技術高度化支援事業** ○**機能性食品産業強化事業** ○**機能性食品開発支援事業** ○**発酵食品関連産業強化事業** ○**冷凍食品産業基盤強化事業** ○**エネルギー関連産業育成支援事業** ○**スマートエネルギー普及促進事業** ○**マーケティング力強化支援事業** ○**戦略的マッチング推進事業** ○**グローバル技術人材育成事業**
かがわSociety5.0(超スマート社会)推進事業 予算額(千円) 115,875 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3348	AI、IoTといった先端技術をあらゆる産業に取り入れることにより、人手不足を含めた社会課題を解決できる社会システムである「Society5.0」を推進することで超スマート社会の実現を目指す。	○**かがわAIゼミナール開催事業** ○**かがわAI+活用支援事業** ○**AI等先端技術活用型研究開発支援事業** ○**デジタル化推進支援事業** ○**スマートファクトリー活用等事業**
貿易・国際投資支援事業 予算額(千円) 22,581 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3353	ジェトロ香川の機能を活用して、県内企業等の海外展開の支援を行う。	○**ジェトロ香川に設置した「香川県海外ビジネス展開促進センター」において、海外展開に関心のある県内企業等に対して企業訪問し、ニーズに合わせた情報提供、アドバイス、支援事業等の紹介** ○**海外展開の実現に向けたきめ細かな支援** ○**「海外ビジネス人材育成講座」の開催 など**
アジアビジネス展開支援事業 予算額(千円) 5,510 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3353	東南アジア等への販路拡大のため現地企業等とのマッチング機会を提供する。	○**タイ・オンライン商談会開催** ○**ベトナム・FBCものづくり商談会出展支援**
直行便就航国・地域ビジネス展開支援事業 予算額(千円) 8,449 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3353	高松空港の国際線就航地域との経済交流をより一層促進するため、県内企業の直行便就航国・地域へのビジネス展開を支援する。	○**台湾販路開拓支援事業** ●台湾政府機関及び経済団体との共催による香川県台湾商談会の開催 ○**上海ビジネス展開支援事業** ●上海地域における県内企業の現地視察や販路開拓等に対する支援
海外ビジネスチャンス活用支援事業 予算額(千円) 2,447 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3353	県内企業の海外展開の状況に応じて、準備段階から契約段階に至るまで総合的な支援を行う。特に、直行便就航地域を対象とするものについては、重点的な支援を行う。	○**海外ビジネスチャンス活用講座開催事業** ●ウィズコロナ時代の海外でのビジネス展開に役立つ講座の開催 ○**海外新展開現地調査支援** ●直行便就航地域への進出等のため現地調査に要する経費を補助 ○**海外ビジネス多言語情報発信支援** ●対象国・地域の言語等でホームページ・パンフレット等の作成に要する経費を補助 ○**海外ビジネス展開専門家活用支援事業** ●契約書作成などを行うために弁護士等の専門家への相談等に要する経費を補助
知的財産推進事業 予算額(千円) 15,629 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3352	県内企業に対する知的財産の普及啓発を図るとともに、県内企業による知的財産の創造・保護・活用を促進する。	○**知的財産活性化事業** ●香川県知的所有権センターの設置 ●「かがわ知財経営塾」「知財マッチングinかがわ」の開催 ○**知的財産推進事業** ●海外で冒認出願された商標への異議申立てに要する経費を補助
企業誘致助成制度 予算額(千円) 2,845,074 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3354	県内に工場、試験研究施設、情報処理関連施設、物流拠点施設、地方拠点強化施設等を設置する企業に対して助成金を交付することにより、企業立地を促進する。	○**助成対象：工場や試験研究施設等の区分に応じて定める投下固定資産額、新規雇用等の要件を満たすもの** ○**助成額：投下固定資産額等を基礎に算出した額(対象施設の区分により助成率が異なる)** ※工場の場合 ●助成率　投下固定資産額の10% 投下固定資産額が10億円を超える部分については助成率を5ポイント引き下げ ●10人を超える新規常用雇用に対する助成あり ●助成限度額　5億円

事業名	事業内容	3年度事業内容
地域未来投資促進法支援制度 予算額(千円)：— 担当課：企業立地推進課 電話番号：087-832-3354	地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域の事業者に対する経済的波及効果を及ぼすことにより地域経済を牽引する事業(地域経済牽引事業)を支援する。	○**要件** ①着工前に県に地域経済牽引事業計画を申請し、承認を受けること。 ②設備取得前に国に先進性の確認申請を行い、先進性の確認を受けること。 ○**優遇措置** 不動産取得税の免除：土地の税率3%⇒0%、家屋の税率4%⇒0% ※その他、国税の優遇措置あり
事業承継支援事業 予算額(千円)：3,310 担当課：経営支援課 電話番号：087-832-3345	専門事業者を活用した事業承継計画の策定等への補助や事業承継税制の認定を通じて、円滑な事業承継を支援する。	○**事業承継支援事業費補助金** ●支援機関の支援を受けたうえで、専門事業者に対して委託する経費の一部を補助 ①事業承継計画の策定等　補助率　1／2(上限30万円) ②M&Aの仲介委託等(譲渡側に限る)　補助率　1／3(上限30万円) ○**事業承継税制の認定** ●事業承継の際の相続税・贈与税の納税猶予を受けるための認定
中小企業BCP策定運用促進事業 予算額(千円)：6,875 担当課：経営支援課 電話番号：087-832-3345	県内中小企業が災害等による事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続や早期復旧ができるようBCP(事業継続計画)策定を促進する。	○**中小企業BCP策定セミナー** ●中小企業を対象にした、BCP策定セミナーの開催 ○**中小企業BCP個別相談会** ●各中小企業が抱える個々の課題についての具体的解決に向けて、個別相談会を開催 ○**中小企業BCP策定等支援補助** ●専門家の指導等によりBCPの策定・見直しを行った際の経費の一部を補助(補助率1／2、補助上限50万円、製造業のみ) ○**香川県中小企業BCP優良取組事業所認定** ●BCPを策定し、事業継続に取り組む中小企業のうち、優れた取組を行っている企業を認定
県内中小企業設備投資資金利子補給補助事業 予算額(千円)：99,100 担当課：経営支援課 電話番号：087-832-3345	製造業を営む中小企業者の経営基盤の強化や新分野進出などの積極的な事業展開を促進するため、県内中小企業者が行う設備投資のための事業資金の借入金に対する利子補給補助を行う。	○**補助対象者** ●県内に本社又は事業所を有する中小企業者(製造業)で、設備投資のために1,000万円以上の資金借入を行ったもの(BCP(事業継続計画)の策定が必要) ○**補助対象となる設備投資** ●県内における製造業のための工場又は試験研究施設の新築若しくは増改築又は取得並びに機械及び装置の取得 ○**補助率** ●資金借入に伴う利子のうち年利1%以下で算定期間内に支払われた額の10／10 ○**補助期間** ●融資実行日から起算して7年以内 ○**補助金額の上限** ●100万円／年(香川県中小企業BCP優良取組認定事業所は200万円／年)
中小企業振興融資 予算額(千円)：39,220,000 担当課：経営支援課 電話番号：087-832-3347	県信用保証協会の保証制度を活用し、取扱金融機関と協調して融資を行い、県内中小企業等の事業資金調達の円滑化を図る。	○**新規創業支援**　○**経営安定支援**　○**商店街支援** ○**経営革新支援**　○**企業立地支援**　○**事業承継支援** **詳しくは「香川県商工労働部経営支援課ホームページ」参照** **https://www.pref.kagawa.lg.jp/keiei/yuushi/yuushi.html**
かがわで就活!応援事業補助金 予算額(千円)：1,400 担当課：就職・移住支援センター(ワークサポートかがわ) 電話番号：087-802-4700	ワークサポートかがわでは、県内企業の人材確保拠点として求人・求職のマッチング支援と県内企業の情報発信に取り組んでいる。県外からの就職を支援するため、県外在住の学生が、香川県内で合同就職面接会、企業見学会、インターンシップに参加するときの交通費を助成する。	○**補助対象者** 県外に在住する学生であって次のいずれかの者 ⑴「jobナビかがわ」に登録し、香川県等が主催する合同就職面接会に参加する者 ⑵「インターンシップナビかがわ」に登録し、香川県等が主催する企業見学会に参加する者 ⑶「インターンシップナビかがわ」に登録し、「インターンシップナビかがわ」で募集する県内企業で実施するインターンシップに参加する者 ○**補助対象経費** 現住所(県外住所地)から県内の目的地までの間を経済的合理的な経路で往復移動するときに要する交通費 ○**補助限度額** 10,000円
新しい働き方推進助成事業 予算額(千円)：7,100 担当課：労働政策課 電話番号：087-832-3366	働き方改革を推進する宣言を行い、テレワークの導入など新しい働き方への転換や、誰もが働きやすい職場づくりに取り組む中小企業等に対し、取組経費の一部を助成する。	○**補助対象者** 県内に本店、支店、営業所等を有する中小企業事業主 ○**補助対象経費** ①テレワークの実施に必要な情報通信機器等の購入等 ②就労環境改善のための設備導入等 ○**補助率等** ①補助率1/2　補助上限額50万円 ②補助率1/2　補助上限額30万円
外国人雇用促進事業 予算額(千円)：30,618 担当課：労働政策課 電話番号：087-832-3400	県内事業所や外国人材からの、雇用等に関する相談を総合的に受け付ける窓口の運営や、外国人材の受入れ・定着・活躍を促進するための補助等を行う。	○**外国人労働人材関係相談窓口の運営** ○**留学生等に対する県内就職支援** ●留学生等と企業との交流会・合同企業説明会の開催等 ○**技能実習生等の適正な受入れなどを内容とするセミナーの開催** ○**外国人材日本語能力向上支援補助金** ●県内企業等が外国人材の日本語レベル向上のために行う事業の経費を補助率1／2、補助上限額20万円で補助 ○**外国人材受入環境整備支援** ●県内企業等が外国人材の受入環境を整備する事業の経費を補助率1／3、補助上限額10万円で補助 ○**外国人材入国時待機費用支援** ●県内の事業所で外国人材を雇用する事業者が新型コロナウイルス感染症の水際対策として実施する入国時待機に係る宿泊費用を補助率1／3、補助上限額30万円で補助

特集Ⅲ

新かがわ中小企業応援ファンド等事業の令和３年度の支援事業が決定しました!!

財団では、平成30年度から新かがわ中小企業応援ファンド等事業を開始し、県内中小企業者等に対して、研究開発から販路開拓、生産性向上、人材育成まで総合的な支援を行っています。また、令和３年度は、新型コロナウイルス感染症が県内の中小企業者等に与えた影響を踏まえ、withコロナ時代に対応するための支援メニューを新設しています。

令和３年度の助成事業について、令和２年11月13日から令和３年１月26日まで募集を行ったところ62件の申請があり、審査の結果、支援対象事業を次のとおり46件を決定しました。

❶ 新分野等チャレンジ支援事業

採択7件　採択額 6,919千円

	テーマ	事業者	採択額(千円)
1	重心点を矯正する腰痛治療機器の開発	石川ペルニック(高松市)	1,000
2	3次元データを活用した直彫り加工によるルアー用射出成形金型を開発	㈱インシスト(高松市)	1,000
3	組足場の高さ調整用ジョイントの開発	㈲KAZU空調(高松市)	1,000
4	茹槽下面ヒーター式茹麺機の開発	光和電機㈱(高松市)	1,000
5	地元農産物を使用した加工食品と滞在アクティビティの融合による五色台の魅力発信事業	㈱tao.(高松市)	1,000
6	香川県産のエディブルフラワー(食べられるお花)を使ったDOLCE(スイーツ)開発	フローラルルーチェ(高松市)	1,000
7	「おうちカフェ(自宅でスイーツを楽しむ)」の創出を目指した冷凍和菓子の試作・商品化	㈱ルーヴ(高松市)	919

❷ 競争力強化研究開発支援事業

採択12件　採択額 52,510千円

	テーマ	事業者	採択額(千円)
1	燃え殻・ばいじんの再資源化事業	㈱アムロン(高松市)	4,329
2	非接触型ロール紙自動供給システムの開発	㈱ORC JAPAN(三豊市)	5,000
3	履きやすく・暖かく・サステナブルな弾性ストッキングの開発	香川シームレス㈱(高松市)	3,042
4	コロナ時代に対応するコンクリート養生粘着シート工法の開発	㈱菊井商会(丸亀市)	5,000
5	日本初、風力自立棒の開発	㈱空撮技研(観音寺市)	3,991
6	溶接検査に特化した新構造３Dカメラの開発	㈱シーマイクロ(高松市)	5,000
7	JIS・ISO試験片抜き刃の正確性向上に向けて	㈱ハガタ屋(東かがわ市)	2,694
8	バイオメタノール含有混合溶液より高純度再生メタノールを生成する実証実験	バリオスター㈱(高松市)	5,000
9	皮膚バリア機能の維持向上効果を有するスキンケア原料の量産技術の確立	㈱伏見製薬所(丸亀市)	5,000
10	次世代低分子抗体医薬の生産性向上に貢献する抗体結合タンパク質の開発	プロテノバ㈱(東かがわ市)	5,000
11	不眠に悩む全ての人を救う、安心安全快適な睡眠環境を作る商品の試作品制作・研究プロジェクト	㈱モーリス(観音寺市)	3,454
12	認知症等の精神疾患早期発見用システムの開発	㈱レクザム(高松市)	5,000

❸ ものづくり生産性向上・スキルアップ支援事業

採択3件　採択額 4,580千円

	テーマ	事業者	採択額(千円)
1	油圧機器及び強電関係の知識向上によるリサイクルプラント事業の強化	鎌長製衡㈱(高松市)	580
2	人稼働率向上による製造原価低減活動の実施	安田食品工業㈱(小豆島町)	2,000
3	印刷業の生き残りをかけ、生産性向上にむけたインターネット広告の提案スキルの習得	㈲ヨシカワ企画(高松市)	2,000

❹ 創業ベンチャー支援事業

採択3件　採択額 4,126千円

	テーマ	事業者	採択額(千円)
1	日本産フルーツの輸出を促進する事で、生産者の収入を増やす	Japan Fruits Channel(坂出市)	1,513
2	高松産クラフトビールの製造・販売	㈲白雀(高松市)	613
3	庵治石産地を世界展開させるブランド企業の構築	㈱蒼島(高松市)	2,000

【かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ枠】

採択額 2,000千円

	テーマ	事業者	採択額(千円)
1	「技＋技＝無限」	TASUKI-Int.(高松市)	2,000

❺ 農商工連携支援事業

採択3件　採択額 6,208千円

	テーマ	事業者	採択額(千円)
1	アスパラガス等を活用した新商品開発および販路開拓による地域課題解決事業	㈱おがた食研(坂出市) (連携体:農家-Sanukifuji(丸亀市))	2,489
2	讃岐正藍染のブランド化と販路拡大	染匠 吉野屋(琴平町) (連携体:どろんこ農家(琴平町))	719
3	ガーリックオリーブオイル製造時の副産物を活用した商品開発と販路開拓	宝食品㈱(小豆島町) (連携体:農業創生 楽農(琴平町))	3,000

❻ -1　withコロナ対応支援事業(商品・技術開発枠)

採択11件　採択額 7,903千円

	テーマ	事業者	採択額(千円)
1	非接触型トイレットペーパー自動供給システムの開発	㈱ORC　JAPAN(三豊市)	800
2	人感センサー搭載深紫外線LED付空気循環装置の開発	㈲ＫＡＺＵ空調(高松市)	400
3	防水・抗菌レザーを使用した新商品「女性用トートバック」開発	㈱カワニシカバンプロダクト(高松市)	800
4	巣ごもり用ダンボール迷路とドローンを組み合わせた遊具の開発	㈱グッドワーク(三木町)	759
5	感染症による生活様式の変様に対応する食品開発	㈱スミダ・リ・オリジン(高松市)	800
6	新生活様式に対応した、家飲み用・うち食用新商品の開発	宝食品㈱(小豆島町)	800
7	発熱外来用スモールハウス「ハコベル」の企画・製作	日本メディカルコンストラクション㈱(高松市)	796
8	さぬき逸品素材ハンバーグ缶詰の開発	㈱ヒロコ(高松市)	348
9	コロナウイルスを捕捉する可能性のある糖鎖の開発	㈱伏見製薬所(丸亀市)	800
10	コロナ禍安心安全包装　とうもろこしレトルトパック商品の開発	㈱ムロト(高松市)	800
11	コロナ禍でも注目の集まるアウトドア専用ミールキットの開発	㈱藪水産(高松市)	800

❼ -2　withコロナ対応支援事業(販路開拓枠)

採択6件　採択額 2,100千円

	テーマ	事業者	採択額(千円)
1	自社ＰＲ動画製作による販売促進事業	㈱出石手袋(さぬき市)	350
2	Withコロナ対応した新しい宿泊型ウェディング商品の造成 ～瀬戸内リゾートウェディングのブランド構築へ～	㈲INAKA TOURISM(高松市)	350
3	LINE公式アカウント専用販売ページ作成による販路開拓	㈱カワニシカバンプロダクト(高松市)	350
4	Web展示会への出展、オンライン商談等による販路開拓事業	日本メディカル㈱(高松市)	350
5	販路拡大のためのECサイトの構築	㈲湊屋(高松市)	350
6	コロナ禍におけるSDGsを意識したD2Cネット販売拡大事業	㈱藪水産(高松市)	350

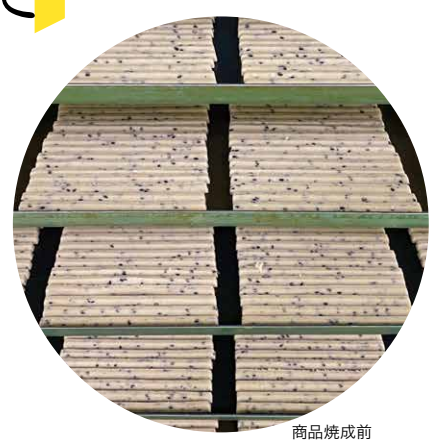
お問い合わせ先　公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15　TEL.087-868-9903　FAX.087-869-3710

かがわ発！元気創出企業

香川県内の元気な企業を訪問し、その企業が発展してきた過程と躍進を続ける今、そして未来への指針についてお聞きする「かがわ発！元気創出企業」。今回は、さぬき市にある「株式会社禾」を訪ねました。

スーパーマーケットトレードショー

子どもから大人までみんなで「おいしい」と喜び合える。自慢できる「おこめの菓子」を。



商品焼成前

3大食物アレルゲン不使用の安心して食べられるお菓子づくり

代表である中條淳子さんが、マクロビオティックカフェとしてスタートさせたのが、今年12年目を迎える「株式会社禾」のはじまり。自身が体調を崩した際に玄米を中心とするマクロビオティックと出会ったことから始めたカフェが、現在の【アレルゲンフリーの菓子専門店】となった、その転機は2011年の東日本大震災。避難所の映像を見た中條さんが、食物アレルギーを持っている子どもたちが食べられるものが少ないのではと思い、当時手がけていた卵や乳製品不使用のお菓子を支援物資として提供したところ、小麦粉アレルギーの子どもたちは食べられないことがわかったという。「災害時など非日常の状況で安心して食べられる物があるとホッとしますよね。ですが当時は小麦を使わないお菓子はほとんどない状態。小麦粉アレルギーの子も、他の子と一緒に食べられるお菓子は絶対必要。そう思って小麦粉フリーのお菓子開発に急ぎました」。同年には、香川県産100%の米粉を使ったお菓子「スイーツエイド」のオンラインショップを開設。3大アレルゲンの小麦粉や卵、乳製品を一切使わないことをコンセプトにしたお菓子専門店は、その後、2015年には高松市内の工場での製造を開始、さらに2019年にはさぬき市へと工場を移転することになる。

マクロビオティックカフェを開いた2年後に小麦粉フリーのお菓子を製造販売する別事業を立ち上げたことをきっかけにして「お米のお菓子専門店」としてスタートした「株式会社禾」。製造するのは、食物アレルギーを持つ人たちが安心して食べられるのはもちろん、味やパッケージも気に入ってもらえ、「わけっこできるお菓子」。2019年10月に、高松市からさぬき市へと工場を移転拡大した株式会社禾の中條社長に、事業にかける思いや今後の展開についてお話を伺った。

どこか懐かしいようなほっこりした雰囲気の工場。10年の間に変わったことも多いが、強い使命感にかられてスタートした創業時から思いは変わらない

代表取締役
中條 淳子 氏

株式会社禾

代 表 者　中條 淳子 氏
所 在 地　さぬき市津田町津田1467-3
電話番号　0879-49-3431

https://nogi-info.com

「使う原材料については、素材そのものや製造工程などの点で少しでも『大丈夫かな?』と思ったら使いません」と中條さん。厳選した原材料を使った商品は2021年4月現在で5シリーズ、25種類

地元のイラストレーターに依頼するなど、手にとりたくなるかわいいパッケージも魅力。そこには「アレルギー持っているから、このなかから選ぶしかない、ということに慣れてしまっている子どもたちに、豊富な種類からワクワクしながら選ぶ喜びも提供できれば」という思い

子どもだけでなく、大人のアレルギーも深刻な現代。小腹が空いた時に、バッグから取り出して食べられる、そんなイメージでつくられたのが「おとなの玄米ポリッポリ」シリーズ

微量の異物混入も防ぐために徹底した工場管理を追求

もと保育所の建物だという工場の玄関に入ると、発送待ちの荷物が置かれている。玄関ロビーから先の、事務所・工場エリアへは、配送業者や来客等も立ち入り禁止だ。「食物アレルギーを持っている人にとってアレルゲンとなるものの摂取というのは、命に関わることもある問題です。だからこそ安心していただけるように、コンタミネーション(混入)を防ぐよう、徹底しています」。誤混入を防ぐため、製造するのは1日1品目。徹底した管理のもと、業務終了時には、毎日機械のパーツまで外して製造ラインの洗浄、製品のグルテンやカゼインの混入検査も行う。工場入り口のエアシャワー設置はもちろん、出社時には着替えをした上で、粘着テープを全身に使用。「まつ毛にまで粘着テープをあててもらいます。露出している部分に何かついているといけませんから」。原材料の梱包や配送、商品配送なども小麦粉入りの商品と同梱しないよう依頼するなど、協力業者やメーカーの協力も欠かせないという。すべては、ごくわずかなアレルギー物質でも反応する人たちにも安心して食べてもらうため。「もっとおいしく、もっと安心に食べられるものを作るために、他にできることがあるのではいつも考えています」と中條さんは話す。

目を引くかわいいパッケージ「選ぶ楽しさ」も届けられるように

移転したことで4倍の広さになり、製造量も3倍に。きほんのおかしからスタートした商品ラインナップは、現在は5シリーズに増えた。どの商品にも共通しているのは3大食物アレルゲンフリー。上白糖も使わず、油脂も動物性ではなく植物性のものを使用している。アレルゲンとなる特定原材料28品目をすべて使用しない商品も。

一品ごとに配合も異なるため、新しい商品を開発するのも容易にはいかないという。それでも新しい商品を生み出し続ける理由は「限られたものから選ぶのではなく、こんなたくさんから選べるんだ!どれにしようかな、と迷ってほしいから。その喜びも提供したいんです」。一方で、より安心してほしいという思いで、既存の商品も原材料を見直すなど常に改良。その安心感からアカチャンホンポや、バースデイなどでも取り扱いスタート。昨年秋からは無印良品のラインナップにも加わるなど、身近で手にとることができるように。目指すは、食物アレルギーのない子からも「おいしそうだなあ、ちょうだい!」と言われるアレルゲンフリーのお菓子。誰もが安心して食べられ、誰とでも「わけっこ」できる。そこに広がる笑顔のために、これからも徹底した商品をつくり続けていく。

徹底的にコンタミネーション防止をした工場内。微量であっても混入する可能性がないように、全員が細心の注意を払っている

令和3年度 起業等スタートアップ支援補助金の募集を開始しました！

県内で創業等を行う者に対し、その創業等に必要な経費の一部を補助します。

区分	情報通信産業型	地域課題解決型
補助対象事業	情報サービス業、インターネット付随サービス業、映像・音声・文字情報制作業（新聞業及び出版業は除く。）、デザイン業（ただし、これらの管理業務のみを行う事業は除く。）	地域に蓄積された強みなどの地域資源を生かして、地域活性化関連、子育て支援、健康関連、買物弱者支援、まちづくりの推進などの社会的事業分野で、地域の課題の解決に資する事業
補助金額・補助率	200万円以内（2／3以内）	200万円以内（1／2以内）
対象者	県内における創業者等	
対象経費	人件費、事業費、委託費	
募集期間	令和3年4月9日（金）～5月28日（金）17：00必着	

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業支援課　TEL 087-840-0391　FAX 087-869-3710

詳細はこちらをご覧ください。▶

（情報通信産業型）https://www.kagawa-isf.jp/sien/hojokin/startup-jouhou.htm

（地域課題解決型）https://www.kagawa-isf.jp/sien/hojokin/startup-tiiki.htm

～中小企業地域資源活用等促進事業助成金を活用～「地域資源ブランド化・販路拡大支援事業」募集中！！

地域の資源を活用した商品の開発、デザイン開発等によるブランド力の強化、戦略的な情報発信等による販路拡大のための実効性のある新たな取組みを支援するため、助成金を交付します。

1. 助成対象事業

地域の資源を活用した自社の商品で次のいずれかに該当するもの。

- 商品の開発（既存商品の改良を含む。）
- デザイン開発等によるブランド力の強化
- 戦略的な情報発信等による販路拡大

※地域の資源とは、香川県が令和2年9月に「地域産業資源活用事業の促進に関する地域産業資源の内容の指定」により特定した地域産業資源（(3)を除く。）、または香川県伝統的工芸品として指定されているものをいいます。

2. 助成率・助成額

助成率:2／3以内

助成額:50万円以上200万円以下

3. 採択予定件数

5件程度

4. 応募方法

申請書様式等は、（公財）かがわ産業支援財団のホームページ（https://www.kagawa-isf.jp/）からダウンロードできます。

応募にあたっては、所定の申請書様式と添付書類に必要事項を記載のうえ、申込先に提出してください。

5. 募集期間

必着

令和3年 4月16日（金）～

令和3年 5月19日（水）17時

6. 助成の対象となる事業の決定

書類審査及びヒアリング等の後、専門家等で構成する審査会での審査を経て決定します。

申請者は審査会でプレゼンテーションを行っていただきます。

お申込み・お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課

高松市林町2217-15　TEL.087-868-9903　FAX.087-869-3710

ITスクエア入居者募集のお知らせ

ITスクエアは、ITを活用した事業の創業、新分野への進出、新しいサービスや新製品の研究開発などに取り組むための拠点として整備したスモールオフィスです。ご利用に関するお問合せは下記まで!

貸室概要

所在地：高松市林町2217-15　香川産業頭脳化センタービル2階

規模：インキュベート室　11室（各室約6.5㎡）

備品：各室に机、椅子が備え付け

通信基盤：インターネット常時無料接続（ベストエフォート1Gbpsを共用）

施設の特長

- 高速通信回線を常時無料で利用できます。
- 大学や多くの研究機関が立地する香川インテリジェントパーク内にあり、各種のサービスや情報を容易に得ることができます。
- 専門のコーディネーターが事業課題等について相談に応じます。

応募資格

次に掲げる要件のいずれかに該当する個人または法人です。

①新たに起業しようとしているか、または、創業後概ね5年以内であること。

②新分野への進出や新しいサービス、新製品の研究開発を計画または行なっていること。

但し、①、②いずれの場合もITを活用した事業であること。

入居料等（消費税込み）

月額20,950円（共益費、光熱費、駐車場料金1台分含む）

入居契約期間 1年ごとの契約とし、原則として最長5年間。

お申込み・お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 施設管理課

TEL.087-869-3700　高松市林町2217-15　Eメール：ins@kagawa-isf.jp　URL：https://www.kagawa-isf.jp

総務部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル1F・2F

総務課
TEL（087）840-0348　FAX（087）869-3710

施設管理課
TEL（087）869-3700　FAX（087）869-3703

企画情報課
TEL（087）868-9901　FAX（087）869-3710

ファンド事業推進課
TEL（087）868-9903　FAX（087）869-3710

企業振興部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル2F

企業支援課
TEL（087）840-0391　FAX（087）869-3710

取引支援課・海外展開支援室
TEL（087）868-9904　FAX（087）869-3710

技術振興部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地16
FROM香川1階

産学官連携推進課・健康産業プロジェクトチーム
TEL（087）840-0338　FAX（087）864-6303

地域共同研究部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地43
RISTかがわ1階

研究管理課・研究開発課
TEL（087）869-3440　FAX（087）869-3441

知的財産支援部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル2F

知的財産支援課
TEL（087）867-9332　FAX（087）867-9365

知的財産普及課
TEL（087）869-9004　FAX（087）867-9365

古紙パルプ配合率80%再生紙を使用　VEGETABLE OIL INK　GREEN PRINTING JPPI P-B10091

この印刷製品はグリーン基準に適合した印刷資材を使用し、グリーンプリンティング認定工場が印刷した環境配慮製品です。　印刷：香川印刷株式会社